



磐梯朝日国立公園 特別講演会 in 飯豊&朝日 持続可能な登山環境のために

東北を代表する大山脈、飯豊連峰と朝日連峰。原生的で雄大な山岳環境は、全国の登山者の憧れとなっています。しかしながら、登山のための環境を将来にわたって持続的に守っていくためには多くの課題に直面しています。一方で、同じ課題を抱える他の山岳地域では、官民が連携した先進的な取組も増えつつあります。今回、登山環境に関する全国的な傾向や他地域での先進事例を知り、飯豊連峰・朝日連峰の未来をともに考えるための講演会を開催します。

開催日

令和7年 3月 12日 水

参加費無料 どなたでもご参加いただけます

時間

14:00～17:00

開場 13:30

■登壇者・テーマ(予定)

山本 清龍 (やまもと きよたつ)

東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授

山岳国立公園における協働型管理

～変わらない風景と変わる地域、人～

会場

飯豊町 町民総合センターあーす
多目的ホール

山形県西置賜郡飯豊町大字椿3622番地

オンライン同時開催

一瀬 圭介 (いちのせ けいすけ)

安達太良・吾妻 自然センター 代表

**民間型ビジターセンターによる国立
公園の活用と保全**

申込

締切

3月 5日 水

会場 定員 100名

オンライン 定員 50名

《申込方法》

必要事項を記載の上、メールにてお申込ください

- 申込先 NPO 法人 飯豊朝日を愛する会(講演会事務局)
- アドレス iide@ic-net.or.jp
- 必要事項 メール本文にご記載ください
 - ①参加希望者の氏名(複数名の場合は全員分)
 - ②所属団体(個人の場合は「個人」と明記)
 - ③ご連絡のとれる電話番号
 - ③参加形式 会場/オンラインの別

※オンライン参加にてお申込の方には、開催前日までに
Zoom参加 URL をメールにてお知らせいたします。

草刈 広一 (くさかり こういち)

NPO 法人 飯豊朝日を愛する会 理事長

**飯豊連峰における植生復元活動等
の報告**

登壇者プロフィール



山本 清龍 (やまもと きよたつ)

東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授

東京大学大学院農学生命科学研究科助教、岩手大学農学部准教授を経て、東京大学大学院農学生命科学研究科准教授。公職に環境省「中央環境審議会自然環境部会自然公園等小委員会」委員など。公園計画(造園学)と旅行者の行動と心理(観光学)を専門領域とし、質の高い自然体験を提供するための方法論の確立を目指して尾瀬や富士山をフィールドに研究を進めている。2013年11月に仙台で行われた第1回アジア国立公園会議では6つのワーキンググループの一つ「自然災害と保護地域」の議長をつとめ、2014年11月にシドニーで開催された世界国立公園会議では日本の震災復興について報告した。



一瀬 圭介 (いちのせ けいすけ)

安達太良・吾妻 自然センター 代表

福島県二本松市岳温泉を拠点に「磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル®」の設計を行うなど、地域振興、文化継承、環境保全をベースにしたアドベンチャートラベルやツアーイベント等のプロデュースを行っている。その中心施設として2023年に「安達太良・吾妻 自然センター」を開設し、同エリアの情報発信やガイドツアーや宿泊施設の提供のほか、トレイルの整備や携帯トイレブースの設置など、環境保全に関する取り組みも主導。国内外で開催されている山岳レースにおいて、テレビ番組等の映像制作に山岳カメラマンとして携わっており、そのグローバルな経験や見識を同地域に還元しながら様々なプロジェクトの開発に取り組みは始めている。



草刈 広一 (くさかり こういち)

NPO 法人 飯豊朝日を愛する会 理事長

総理府事務官を経て、郷里の米沢市郊外に自然の中での保育を目指し「ぶなの木園」(現・やまびこ園)を仲間と設立。記録映画「小さな羽音ーチョウセンアカシジミ蝶の舞う里」を企画(1993年キネマ旬報文化映画第1位)。1994年に小国町の山村に移住。白炭生産や伝統的な春の熊の巻き狩りなどを行いながら、豪雪環境や寒冷地形下での昆虫の生活史を調べてきた。小国山岳会に入り飯豊連峰・御西小屋の管理人となって、高山帯の植生や生態系の繋がり、それらの保全などをテーマに活動している。

